

①

②

③

南吉の下宿先室内

安城下宿80周年特別展

日本丁^{デン}マーク^{マー}抹と
南吉の暮らし

大見家の掛時計

展示期間

2019年7月13日^土～10月27日^日

■開館時間…………… 9時30分～17時30分

■休館日…………… 7/16^火・22^月・8/5^月・19^月・26^月・9/2^月・9^月・10^火・17^火・
10/7^月・8^火・15^火・21^月

■観覧料…………… 常設展観覧料210円(中学生以下無料)で特別展もご覧いただけます。

※消費税10%に改定後、220円

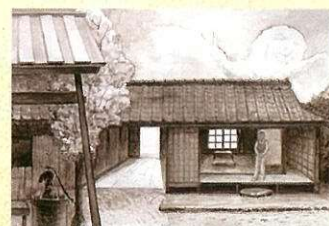
写真①農村の副業養鶏 ②スイカの出荷 ③梨園 ①～③国立国会図書館デジタルコレクションより転載。④「39ふるさとの想い」出写真集 明治大正昭和安城」国書刊行会より

④明治用水

同 時 開 催

ミュージアムトーク

学芸員が特別展の解説をします

7/15^月・20^土・27^土・30^火・8/10^土・
25^月・9/16^月・28^土・10/4^金・19^土
13時30分～14時「南吉の詩」^{うた}原画展示会場／新美南吉記念館スロープ脇の通路
作品／「新田町の下宿と南吉」、「南吉の詩」原画
安城で美術の教員をされている野村郁夫氏の原画を展示
します。このうち、「南吉の詩」は、安城で新美南吉生誕百年
を記念して発行された朗読詩集の挿絵原画です。

新田町の下宿と南吉/野村郁夫

新美南吉記念館

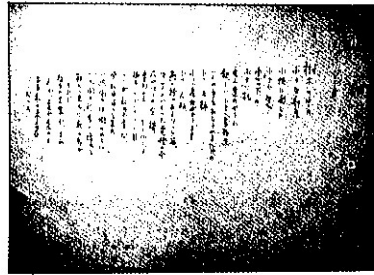
〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 TEL (0569)26-4888 FAX (0569)26-4889

【交通】名鉄河和線/半田1駅より西へ徒歩20分 知多半島道路/半田中央ICより東へ5分
半田市地区路線バス「ごんくる」/知多半田駅(雁宿ホール前)の停留所から15分

安城下宿80周年特別展

日本^{デンマーク}丁^{マーク}抹と南吉の暮らし

- 第一章 ^{デンマーク} 日本丁抹の暮らし
- 第二章 青年教師の暮らし
- 第三章 新田の下宿の暮らし
- 第四章 ^{やこう} 都築弥厚から生まれたもの



詩「工房」原稿

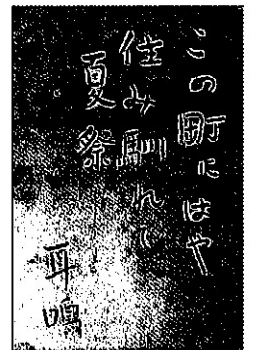


大見家のラジオ

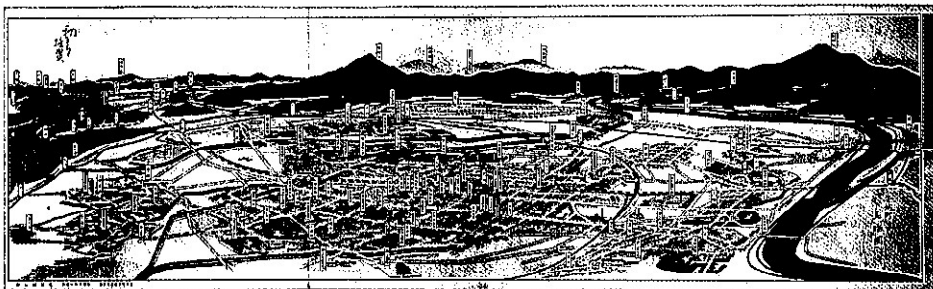
昭和13年から安城高等女学校で教師をしていた新美南吉は、当初半田から鉄道で通勤していました。しかし、戦争による交通事情の悪化と、「職員は学校の付近に居住すべし」という県の通達を受け、今からちょうど80年前の昭和14年4月頃から、安城の新田にある大見家に下宿し始めます。

半田から通勤していた教師生活1年目は、詩作が中心で童話や小説は書いていません。しかし、南吉が安城に下宿した3年半ほどの間は、体調こそ浮き沈みがあったものの、教師として充実した日々を送り、創作活動も本格化します。南吉は安城ゆかりの童話や詩も創り、作品は未完成に終わったものの、明治用水の祖といわれる安城の偉人、都築弥厚の伝記執筆にも取り組んだことが日記やメモから分かります。

戦争によって陰りが見えていたものの、南吉が下宿した安城は、「日本^{デンマーク}丁^{マーク}抹」と呼ばれ農業を中心に発展していました。ここで南吉がどのように暮らし、どのような影響を受けて作品を書いたのかを探りたいと思います。



南吉が「耳鳴」の俳号で詠んだ句



昭和15年 パンフレット「産業の安城」
安城市歴史博物館所蔵

親子バス見学会

10月14日(月) 9時～15時30分

「ごんぎつね」だけじゃない！南吉が暮らし安城の下宿先や街をめぐって、南吉のことをもっと知ろう。

【対象】 3年生以上の小学生と保護者

【定員】 30名(申込順)

【持ち物】 水筒

【弁当代】 大人800円、子ども650円(弁当持参も可)

【申込み】 9月14日(金)9時30分から電話または窓口へ



新美南吉記念館

TEL0569-26-4888

詳しくはホームページでご確認ください。

新美南吉記念館

検索

新美南吉生誕祭

7/27(土) 昼のイベント・正八ちゃんの宵祭り

28(日) あつまろうみんなの南吉まつり

29(月) うぐいす笛づくり

30(火) 「南吉さんの日」(誕生日)式典

※期間中は入館無料

ごんの秋まつり

10月31日は
ごんの誕生日

9月20日(土)～10月4日(日)

・矢勝川堤に咲く300万本の彼岸花と各種行事

・実際の開花とイベント期間がずれることもあります

・イベントや駐車場規制についてはホームページを

ご覧ください

